

当社グループでは、100年企業としてのあるべき姿を「独自技術で豊かなくらしを支え、自然と調和した社会の持続的発展に貢献するフレキシブルで存在感のある企業グループ」「食の安定供給を支える農業に貢献し、革新的な技術と独自の事業領域を確立した最先端の化学メーカー」と定め、この企業像の実現に向けて、取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定しました。

そして、28のマテリアリティのうち、「向こう3年で特に集中すべきもの」を7つ抽出し、新中期経営計画の重要方針としました。



## あるべき姿

独自技術で豊かなくらしを支え、自然と調和した社会の持続的発展に貢献するフレキシブルで存在感のある企業グループ

### マテリアリティ達成のために今やるべきこと

#### 中期経営計画(2024~26)の7つの重要方針 これから3年で取り組む優先課題

1. 持続可能な農業への貢献／高品質な製品・サービスの安定供給
2. 気候変動・環境負荷の低減
3. 研究開発力の強化
4. 事業領域の拡大と新規事業の推進
5. 人財の育成／人的資本の考え方をベースにした人財戦略
6. コーポレートガバナンスの高度化
7. DX化の推進／デジタル化の実践

### マテリアリティ あるべき姿を実現するために取り組む課題

■ 本業を通じた社会課題の解決 ■ 環境 ■ 社会 ■ ガバナンス

非常に重要 ステークホルダーにとっての重要度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域社会への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 循環型社会への貢献</li> <li>■ 化学物質管理の強化</li> <li>■ 労働安全衛生の推進</li> <li>■ 人権の尊重</li> <li>■ サプライチェーンマネジメントの高度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 世界の食料安全保障への貢献</li> <li>■ 持続可能な農業への貢献</li> <li>■ 生活の質向上への貢献</li> <li>■ 気候変動・環境負荷の低減</li> <li>■ 生物多様性への貢献</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然災害への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知財・無形資産の戦略的活用</li> <li>■ 農業・作物保護に関する正確な情報発信</li> <li>■ 人財の育成</li> <li>■ ワークライフバランスの推進</li> <li>■ ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研究開発力の強化</li> <li>■ 品質向上と製品安全の確保</li> <li>■ 顧客満足の実現</li> <li>■ 海外事業の拡大</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 適正な情報管理の推進</li> <li>■ DX化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業領域の拡大と新規事業の推進</li> </ul>
	<p>重要 ← 当社グループにとっての重要度 → 非常に重要</p>		
<h4>企業経営の基盤</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ コーポレートガバナンスの高度化</li> <li>■ リスクマネジメントの強化</li> <li>■ コンプライアンスの推進</li> <li>■ ステークホルダーとの対話</li> </ul>			